

8月臨時会

養鶏場建設 反対請願を採択

賛成多数(賛7・否6)で採択

8月2日に臨時議会を開き、契約の締結2件は全員賛成で原案のとおり可決しました。また、6月定例会の文教産業建設常任委員会で継続審査することとした、北中東部地先における大規模養鶏場建設計画反対の請願書については、議員全員で次のとおり意見聴取等を行いました。7月29日に開かれた同委員会での採択を受け、今臨時会で審議し賛成多数(賛7・否6)で採択しました。意見書は議長名で知事へ提出しました。

議会での流れ

- 5月31日 養鶏場建設反対の請願書受理
6月10日 養鶏場誘致を求める嘆願書受理
6月17日 文教産業建設常任委員会で継続審査とする
6月21日 都市計画課長より経緯を聴取
7月4日 請願者より反対理由の意見聴取
7月10日 (株)クレストより事業計画等詳細な内容を聴取
7月16日 町の考えについて聴取
7月29日 嘆願者から誘致理由の意見聴取同日、文教産業建設常任委員会で採択(賛4・否3)
8月2日 臨時会で請願書を採択

大規模養鶏場建設反対請願に対して討論

賛成討論

椎名義光 議員

本案件については、様々な角度の方から意見を伺い審議されたと思います。

今回、地元関係者の方々から出された請願は、信頼性の高いものです。

住民の声は重視しなければならぬと思います。住民は、良い環境で住み続けるとい権利を持っています。それを阻害する者が現れた時、それを排除する権利を持っています。

反対討論

那須保秋 議員

町の対外的見解は中立です。私も中立ですが、条件付き賛成です。周辺住民の心配を払拭するべきです。公害は非常に少ないということですが、管理する者の怠慢で事故は起こるものと思います。自主財源の少ない町にとって1億円という税収は大変な魅力です。養鶏場周辺の環境整備を第一に考え、残りは福祉に特化した財源として使うべきだと思います。

賛成討論

鎌形邦雄 議員

(増収など)今後の町の状況を考えなければならないと思います。香取市(旧山田町)の農場周辺住民から聴き取りしたところ、埃や臭いがあり迷惑しているとのことでした。実際に現地を確認してみると、汚れた水が流され臭気が発生していました。そこでは20万羽、多古町では280万羽です。私は地元の方の大多数の方が反対していることから、建設を反対するものです。

反対討論

加瀬芳廣 議員

地元の方が反対されているのは主に、鳥インフルエンザ、排水、道路等の問題だと思えます。中国で鳥インフルエンザが発生した要因の1つは、成鳥が生きのまま販売されていたから、とのこと。排水問題については、地域の方の同意を得てからと聞いています。また、道路についても西玉線の延長から進入路を造るとのこと、問題は無いと考えます。

審議結果 〈8月臨時会〉

賛成...○ 反対...× 欠席...欠 退席...退

(議長は採決に加わりません)

Table with columns: 議案番号, 件名と主な内容, 議決結果, 議員名, 賛成/反対/欠席/退席. Includes items like '契約の締結(道路改良工事)' and '養鶏場建設計画反対に関する請願書'.

所要時間 60分

送迎バスのルート決定は

乗車時間に配慮しルートを検討します

幼稚園奨励補助金の対応は

来年度開園のことも園ですが、保護者の方々に対しての今後の説明会の実施時期や内容、募集時期について伺います。

町長 ことも園組織運営等検討会議で詳細に検討を進めていくところ、募集スケジュールは例年よりも早目に進めるべきとの意見もあり、8月頃までには決定したいと思えます。

問 送迎バスのアンケートの今後の実施予定と、全ルート決定までの流れを伺います。

町長 園バスの利用対象となる2歳児から4歳児まで(約280名)の保護者を対象に、入園希望を含めバスの利用希望を伺う予定です。実施時期は7月頃を予定し、この調査で人数や住所地を概ね特定し、送迎ルートの検討を行います(園児の疲労が極力抑えられるよ



給食おいしいね。園庭で育てた野菜を使っています。(北保育所)

う、乗車時間に配慮しながらルートを検討したいと思えます。私立幼稚園に通園させている方も増えていますが、本町の幼稚園奨励補助金についての対応を伺います。
町長 幼稚園教育は全て町で対応できる体制が整っている、あくまでも町内の幼稚園に就園しているお子さんを対象に、就園奨励費の事業として減免の規則を設けています。
毎年6月に、町内の幼稚園児の保護者の方に制度を周知する文書を配布しています。

介護予防教室の拡充を

問 健康寿命の促進は医療費の削減にもつながり、介護予防教室は介護保険(給付費)の増加を抑えることにもなります。現在の実施状況と、これからの町の方針を伺います。

町長 要介護になるおそれのある方を対象とした2次予防事業と、(現時点では)特に健康に心配はないが、介護予防を行う1次予防事業を行っています。1次予防は参加者が定員を上回る人気で、今後も充実させていきたいと考えています。

問 保健センターや、わぁーかちいーとまでは行けなくても、地区で開催していれば参加できるとい高齢者の方はたくさんいます。その点について、町長はどのようにお考えですか。
町長 今進めている状況の中で精査をしながら、今後効果



菅澤環 議員

率的に開催できるよう努力していきたいと思えます。

問 来年度は各保育所、幼稚園が空きますが、そういった施設を利用して介護予防教室を開催する考えはありますか。

町長 (空き施設利用の)要望は多岐にわたると思えますので、できるものから成果を上げていけるよう、努力していきたいと思えます。

問 総合計画書の中にも『町民と協働のまちづくり』の文字がたくさんありますが、町長は協働のまちづくりについて、どのようにお考えですか。

町長 要望だけでは解決できないものに住民の方にも自発的に関わっていただき、「NPOなどと一緒にやましよう」と提唱しています。(現在は)それが機能してきていますので、(今後)そこを拡充していきたいと思えます。